

# 学校評価アンケートについて

## 1 はじめに

学校評価アンケートへの御協力をありがとうございました。いただいた意見をもとに、見直しをし、改善できるように取り組んでいるところです。その中から一部について紹介させていただきます。

## 2 学校評価から

本校の学校教育目標は、「ともに学び 思いやりのある たくましい子」です。その具現化に向け、様々な教育活動に取り組んでいるところです。今回のアンケート結果からは、子どもたちに「今の自分を振り返り、目標を意識して生活する力」が十分に身につけていないという課題が明らかになりました。

この力を育むために学校で取り組んでいることの一つに、「もくせいタイム」があります。毎週金曜日の朝の活動時間に取り組んでいるもので、1週間の生活を振り返り、次の目標を決めてワークシートに記入しています。自分自身のことを見つめる時間として大切にしています。子どもたちによる自己評価では、しっかりと意識できていると考えている子が多いのですが、保護者や教師からすると、まだまだこの力を育てていく必要性があると感じており、子どもたちとの間にギャップがあることが分かりました。

そこで、今後はこのノートを保護者の皆さんにも見ていただく機会を作ることを考えています。今度、家庭に持ち帰りましたら、お子さんがどんなふうに自分のことを振り返り、どんなことを考えて生活しているのかを一緒に考える時間を作っていただきたいと思います。教師も、できるようになったという結果だけでなく、それまでの過程や個人の成長に目を向けて、一人一人の取り組む姿勢や行動を認め、励ましていきたいと考えています。

11月には、後期の学校評価アンケートを行う予定です。今後も貴重な意見をいただき、本校教育活動の改善に努めていきたいと考えます。コロナ禍で様々な活動が規模を縮小したり、中止になったりし、御迷惑をおかけします。本校では、できる限りの新型コロナウイルス感染症予防対策をとりながら、やれることを行い、子どもたちの成長を促していきたいと考えます。

なお、日々の教育活動については、本校HPに掲載させていただいています。更新を増やし、情報発信をすることで、少しでも学校の様子を知っていただき、家庭と学校で協力していければと思います。



【本校HPのQRコード】



### 3 いただいた御意見より(抽出)

(1) 学習用端末を毎日持ち帰るので荷物が重くなった。減らしてほしい。

新型コロナウイルスに感染し、いつ学級閉鎖になるかわからない状態が続いています。学習用端末の有効活用という目的だけでなく、学級閉鎖時のオンライン学習のためにも、毎日持ち帰るようにしています。そのために、家庭で使わない教科書やノートは学校に置いていたり、習字道具や絵の具セットは、部分的に中身だけを持ち帰ることを認めたりするなど、持ち帰る荷物を最小限にするように配慮しています。今後、感染状況によっては、学習用端末を持ち帰る頻度を検討していきます。

(2) 中学校へのあこがれや目標がもてるように、中学生との交流の場を増やしてほしい。

南中の生徒が登校時に小学校に寄り、あいさつ運動をすることを計画していますが、コロナ禍により実施できない状況が続いています。そこで、オンラインによるあいさつ運動を実施しました。画面を通して子どもたちは楽しそうにあいさつをしています。無理のない形での交流でありオンラインによる交流の可能性は広がっています。今後も6年生と中学生との交流を計画していきます。



(3) たけのこシールの取り組みを今後も続けてほしい。子どもの話からも学校の様子を知ることができる。

本校では「ほめほめチャレンジ」として、子どもたちの自己肯定感を高める目的で行っています。学級担任に限らず、いろいろな教師から自分の言動を認めてもらうことで、自ら進んでよいと思った行動を実践できる子に育てていきたいと考えています。



(4) トイレをきれいにしてほしい。臭いをなくしてほしい。

コロナ禍により、子どもたちによる便器の清掃は行えない状況が続いています。放課後、定期的に教師が清掃していますが、行き届かないことがあります。今年度は、ボランティアの方にも御協力いただいて、環境改善に努めておりますが、人数が足りていない状況です。保護者の皆様の中で、御協力いただける方がいらっしゃいましたら、年度途中でも構いませんので御協力をお願いします。担任までお知らせください。

(5) 東側駐車場にあるポールがあった跡(土台のみ)につまづいている人を見かけた。危ないので撤去してほしい。

夏休みのうちに業者に依頼して撤去しました。  
情報提供をありがとうございました。



今後とも本校の教育活動について、御理解と御協力をよろしくお願いします。